

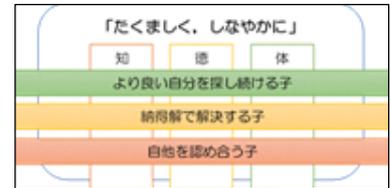
別海町立別海中央小学校

指定年度：H25～
児童数：391名

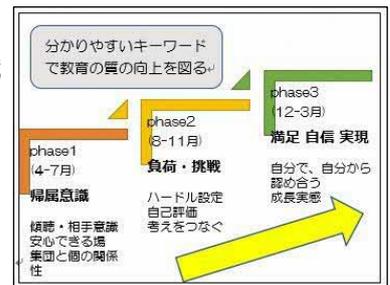
1 包括的な学校改善に向けた取組の概要

①教育理念や経営方針の浸透

- ・教職経験年数が5年以下の教員の割合が35%以上を占め、組織的・継続的な取組を通して、人材育成を図る必要があることから、グランドデザインで学校の教育目標や「目指す子ども像」を明確に示し、学校改善を推進することとした。
- ・学校の教育目標や「目指す子ども像」の達成に向け、1年を3期に分けた「学校全体で意識する3つの局面」を設定するとともに、各校務分掌や学年で、日常の教育活動とのつながり意識して具体的な方策を検討し、共通理解を図るようにした。
- ・学校の検証改善サイクルの迅速化に向け、月ごとに校務運営委員会を実施し、学校の教育目標や「目指す子ども像」を達成するという観点から、取組や検証の在り方、システムの見直し・改善を図りながら実践した。



【「目指す子ども像」の明確化】



【学校全体で意識する3つの局面】

②協働意識の高揚

- ・校務分掌の部長や学年主任を特定の教員に固定せず、リーダーを分散させるとともに、チームによる活動を中心に据えながら業務を推進する組織体制づくりに取り組んだ。
- ・学校の教育目標や「目指す子ども像」の達成に向け、「共通・一貫・徹底・継続」を意識するようにし、適宜、取組の方向性や進捗状況の確認を行った。
- ・スクールソーシャルワーカーや特別支援教育支援員等の教員以外の職員と連携を図り、教育活動の質の向上につなげるようにした。

③人材育成

- ・教員の指導力向上を図る観点から、全教員による「ブラッシュアップ講座」を計画的に実施した。
- ・日常的に行うジョブシャドーイングや、4年次の教員がリーダーとなって、主体的に取り組む「メンター研修」など、初任段階教員研修を計画的に実施した。
- ・「学び続ける教師集団」を目指し、キャリアステージを踏まえた個別目標の設定と振り返りを通して、学校経営参画意識の高揚や指導の改善を図るようにした。



【ブラッシュアップ講座の様子】

2 取組の成果と課題 (□：成果 ■：課題)

- グランドデザインに示されている学校の教育目標や「目指す子ども像」と日常の教育活動とのつながりを意識して具体的な方策を検討したことにより、9割以上の教職員が「『目指す子ども像』のイメージを具体的にもつことができた」と回答するなど、教職員の目的意識の高まりや指導のベクトルが共有され、組織的な取組を充実させることができた。
- 組織の見直し・改善を図りながら、課題を明確化して取組を進めたことにより、教職員の学校経営参画意識が高まり、主体的に取り組む「自走型」の組織づくりにつなげることができた。
- 人材育成に係る組織的な体制を整備したことにより、9割以上の教職員が「各種研修を通して資質向上が図られた」と回答するなど、取組を充実させることができた。
- 教育活動の質を向上する「学校の働き方改革」の意識を高めるとともに、「教員育成指標」を効果的に活用した人材育成を進める必要がある。